

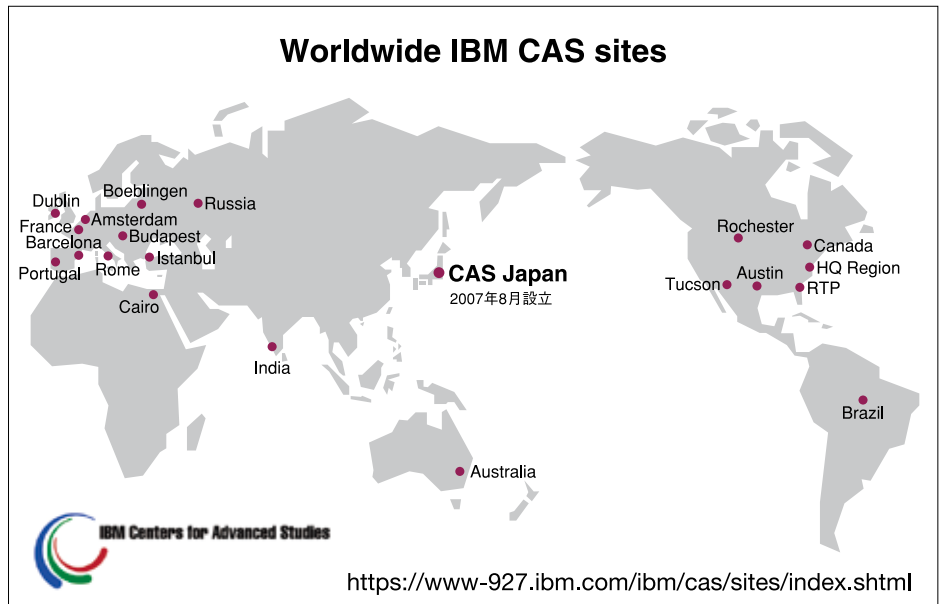
IBMユニバーシティ・リレーション



- 大学との連携を通して社会に貢献し尊敬される企業を目指します。
- 日本の大学でのイノベーション実現を支援します。
- 価値創造のためのオープン・テクノロジーを日本の大学向けに推進します。
- 日本のUR (University Relations) / CAS (Centers for Advanced Studies) 活動をグローバルに統合されたワールドワイド活動に進化させます。

IBMの大学連携プログラム

IBMは、世界各国で大学との連携を強めることで、高等教育に貢献し、学界と産業界の双方に価値をもたらす活動を進めています。IBMは、大学との連携の拠点として、CAS(Centers for Advanced Studies)と呼ばれる世界的な社内ネットワーク組織を持っています。日本IBMは、大学との長期的なリレーションを構築することを目的として、2007年8月にCAS Japanを設立しました。



IBM	大 学			
	学長・総長	教授・研究室	大学院生	学部生
大学との連携 高等教育への貢献				
会議・シンポジウム	天城学長会議(1983~)	IBM Day, SSME University IBMクラウド・アカデミー		
		IBM IT人材育成フォーラム		
研究者への賞金		日本IBM科学賞(1987~)		
		Faculty Awards		
機器の提供		SUR Awards		
製品の無償提供		IBM アカデミック・イニシアティブ		
資料や情報の無償提供		次世代スキルポータル		
Jam		IBM Smarter Planet University Jam		
奨学金			Ph.D. Fellowship Awards	
インターンシップ			IBMサマー・インターンシップ, 基礎研究部門	
履歴書の登録			Student Opportunity System	
コンテスト			Scholars Challenge Program, ACM Programming Contest, XML Programming Contest	
セミナー・コンファレンス			TechEX for Student	
パートナーシップ		World Community Grid		

注：それぞれのプログラムには資格要件があり、それを満たす必要があります。詳細は、URLをご覧ください。

講演、シンポジウム

天城学長会議

1983年より毎年夏、全国の大学長の有志の方々が伊豆・天城の地に一堂に会し、国立、公立、私立の枠を超えて、日本の高等教育と大学のあり方について自由に議論する「天城学長会議」が開催されてきました。日本IBMは、当会議の会場として、IBM天城ホームステッドを提供し、事務局として運営を支援しています。

*現在までに全国の194大学、延べ1,238名に達する学長・理事長が参加されています。

IBM Day

産学連携活動の一つとして、IBMと大学が開催するシンポジウムです。日本では、2007年に東京大学で「IBM Day at UT」、2008年に慶應義塾大学で「IBM Day at Keio University」、2009年にはIBMと早稲田大学共催の「IBM Day at Waseda University」が早稲田大学国際会議場で開催されました。最先端の研究・技術についての講演や、学生の皆さんとのフォーラムなどを行いました。

SSME University

IBMは全世界で、新しい学問分野としてサービス・サイエンス(SSME: Services Sciences, Management and Engineering)を提唱しています。日本においては大学や政府の関係者を招いて「SSME University」をサービス・サイエンスに関する議論の場として設け、研究・教育プログラムの開発を支援しています。

<http://www.ibm.com/software/jp/academic/skills/service.html>

IBMクラウド・アカデミー

教育分野におけるクラウド利用の促進を目的として、IBMが各国の大学と連携して推進するフォーラムです。IBMはクラウドに関連したスキルとリソースを提供して、先進的な導入事例やカリキュラムの共有を支援しています。2010年には日本で支部会を開催し、米国の大学の教育クラウドの稼働事例を紹介しました。

http://www.ibm.com/industries/jp/edu/events/IBM_Cloud_Academy_Rep_201010.html

IBM Smarter Planet University Jam

2009年に全世界の200以上の大学の教員、学生の皆様とIBMの社員が、「Smarter Planet」をテーマに、Jam(ジャム)と称するWeb上での議論を交わしながら意見をまとめていくというイベントを開催し、報告書を発表しました。

https://www.ibm.com/developerworks/university/smartplanet_jam/

製品・技術の無償提供

IBM アカデミック・イニシアティブ

オープン・スタンダード、オープン・ソースを学生に啓蒙することを目的として、全世界レベルで展開している教育プログラムです。授業にすぐ使用できる教材、IBMのソフトウェアなどをWebから無償で提供します。大学を含むすべての学校を対象としています。

<http://www.ibm.com/software/jp/academic/>

次世代スキルポータル

「次世代スキルポータル」は、先進のITスキルを身につけるための、豊富な資料や情報を無償で提供します。

<http://www.ibm.com/software/jp/academic/skills/>

アワード

日本IBM科学賞

日本の基礎科学研究の振興と優れた若手研究者の育成に寄与することを目的として、1987年日本アイ・ビー・エム創立50周年を記念して創設されました。物理、化学、コンピューター・サイエンス(バイオインフォマティクスを含む)、エレクトロニクス(バイオエレクトロニクスを含む)の4つの分野で活躍する、国内の大学あるいは公的研究機関に所属している45歳以下の研究者を対象としており、これまでで受賞者総数は142名になります。

<http://www.ibm.com/ibm/jp/company/society/science/ibm.html>

優れた研究を行っている大学、教員、大学院生を支援するために、世界共通の表彰プログラムを実施しており、日本でさらに利用されるように進めています。

http://www.ibm.com/industries/jp/edu/topics/UR_2009.html

SUR Awards*

優れた研究をしている大学に、IBM機器(サーバー、ストレージ等)を寄贈し、研究活動を支援します。

*大学への寄付としてのご提供になります。

<http://www.ibm.com/developerworks/university/sur/index.html>

Faculty Awards*

大学教員への賞金授与や表彰を通じて、卓越した研究やスキルの育成を支援します。

*大学への寄付金としてのご提供になります。

<http://www.ibm.com/developerworks/university/facultyawards/index.html>

Ph.D. Fellowship Awards*

先進的な研究をしている大学院博士課程(募集時に後期の1年または2年)の学生を対象として、授業料と奨学金を支給します。

*大学への寄付金としてのご提供になります。

<http://www.ibm.com/developerworks/university/phdfellowship/index.html>

インターンシップ制度

IBMサマー・インターンシップ

大学生が、IBMを通してITビジネスについて理解し、その現場で仕事を体験することを目的として、日本で夏季に開催しているインターンシップ・プログラムです。IBMでの就業体験を通して、ITビジネスへの理解を深め、さらには社会で働く意識を高めていただくことを目的に、主に大学生・大学院生を対象として当プログラムを開催しています。

<http://www.ibm.com/jp/employment/jp/intern/index.shtml>

基礎研究部門

日本の基礎研究部門では随時、国内外から客員研究員、および学生研究員を募集しています。

<http://www.research.ibm.com/trl/employment/internship.htm>

Innov8 (イノベイト)

学生のビジネス・スキル向上を支援するゲーム

Innov8(イノベイト)は、大学生および若手プロフェッショナルに対して、ビジネスと情報技術(IT)を一体化させたスキルの向上を支援するための新しいビデオ・ゲームです。これにより、全世界で数千の大学が、Innov8を無償で利用できるようになりました。Innov8は現在、IBMのアカデミック・イニシアティブ (<http://www.ibm.com/software/jp/academic/>) を通じて入手することができます。



<http://www.ibm.com/developerworks/jp/webservices/library/ws-bpm-innov8/>
<http://www-01.ibm.com/software/solutions/soa/innov8/full.html>

World Community Grid (WCG)

コンピューターの使われていない時の処理能力を活用して、医療や社会の難しい課題への世界的な取り組みをITの側面から支援する人道的な貢献活動です。IBMはセンター・サーバーを運営しており、WCGを構築するためのハードウェア、ソフトウェア、技術サポートおよび、ホスティング・サービス、メンテナンスを無償で提供しています。

研究プロジェクト例として次のものがあります。

- ・ヒトたんぱく質解析プロジェクト ステージ2 ニューヨーク大学(2006/6～)
- ・FightAIDS@Homeプロジェクト ステージ2 Scripps研究所(2006/6～)
- ・ Dengue熱治療薬を発見しようDiscovering Dengue Drugsプロジェクト(2007/8～)
テキサス大学医学部、シカゴ大学
- ・がん克服支援Help Conquer Cancerプロジェクト(2007/11～)
オンタリオがん研究所、プリンセス・マーガレット病院、ヘルスネットワーク大学
- ・ファイト!小児がんプロジェクト 千葉大学(2009/3～)



URL: <http://www.worldcommunitygrid.org/>

IBMユニバーシティ・リレーションのお問合せ先: ibmcasj@jp.ibm.com

IBM、IBMロゴは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
04-11 Printed in Japan

●当資料において、IBMとはInternational Business Machines Corporation、またはその支配下にある企業を含む企業体を意味します。
●掲載された情報は2011年4月現在のものです。